

# 議会だより

第9号

発行:佐渡市議会 責任者:梅澤雅廣 編集:議会報編集特別委員会  
〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394番地 ☎ 0259)57-8133



相川宵乃舞

## 6月定例会

平成18年 第2回佐渡市定例会 …… 2 p	議会質問その後 追跡 ……16・17 p
人事案件・請願・陳情・意見書・決議 …… 3 p	平成18年 3月定例会常任委員会の 要望・意見に対する処理状況 18・19 p
一般質問 …… 4 ~ 12 p	傍聴のこえ・議会のうごき・ 行政視察来市状況・編集後記 …… 20 p
常任委員会活動報告 …… 13・14 p	
特別委員会活動報告 …… 15 p	

# 平成18年 第2回佐渡市定例会

平成18年第2回（6月）定例会が8日

～22日の15日間の会期で開催されました。

一般質問には16人の議員が登壇し市政をただしました。

予算について、歳入歳出に1億5737万円を追加し、総額460億1737万円とする一般会計補正予算案など39議案を可決し、人事案件1件に同意しました。

また、意見書4件を可決し、議会解散を求める決議案は、反対多数で否決されました。

## 主な議題

### 平成18年度佐渡市一般会計補正予算（第1号）

主なものは アスベスト対策事業費	2400万円
コミュニティ助成事業補助金	2470万円
ダイオキシン類対策費	2020万円等

### 新潟県佐渡スポーツハウスの管理及び運営に関する事務の受託について

新潟県が設置している佐渡スポーツハウスについて、地方自治法第252条の14の規定により、佐渡市が平成18年9月1日から、当該施設の管理及び運営に関する事務を受託するため、受託規約を定めることについて

### 財産の取得について

特別養護老人ホームの用地として社会福祉法人愛宕福祉会に無償貸与するために、新穂瓜生屋地内の土地（5769㎡）を取得することについて

### 人権擁護委員候補者の推薦について

# 人事案件・請願・陳情・意見書・決議

人権擁護委員候補者の推薦について

本問 敏 延

三川55番地

昭和16年5月8日生

## 採択された請願

日本と同等の安全対策のない、アメリカ産牛肉の輸入再開に反対する請願

出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締まりに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める請願  
「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める」請願

## 可決された意見書

アメリカ産牛肉の輸入再開は、日本と同等の安全対策実施後とすることを求める意見書

北朝鮮による日本人拉致事件の全容解明と早期解決並びに拉致被害者に対する国家支援についての意見書  
出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受け入れ、預り金及び金利等の取締まりに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書  
郵便事業に関する意見書

## 郵便事業に関する意見書(全文)

郵政民営化については、来年10月の日本郵政公社の解散、郵便事業株式会社・郵便局株式会社等の設立、事業開始に向け、本年1月には日本郵政株式会社が設立されたところである。

政府は、国民が既存郵便局の存続を不安視するなか、「郵便局のネットワークを維持し、国民の利便に支障が生じないようにする」として郵政民営化関連法律を成立させた。

しかし、日本郵政公社の集配拠点再編案によれば、同公社が集配業務を受け持つ全国約4700の郵便局のうち、約1000局の集配業務を地域の中核となる郵便局に集約する方針であり、佐渡島内については全17局のうち、約3分の1の6局が集約されると示されている。しかるに集配業務の集約に伴う集配業務の広域化は、郵便物の遅配、島内発郵便物の遅れなどのサービス低下が懸念され、更に土日、祝日の窓口業務が廃止されることから、離島佐渡の住民の間に地域における将来的な郵便局の存置について、大きな不安が広がっている。

よって、政府におかれては、郵政民営化に当たり、特に公共交通機関の未整備な離島佐渡の郵便局を維持し、現在の集配局機能を存続するよう強く要望する。  
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

なお、この意見書は提出後に市長・議長及び議会の代表が直接関係省庁を訪れ、陳情をおこなった。

## 継続審査となった請願・陳情

個人所得課税における各種控除の安易な縮小をおこなわないことを求める請願

関税引き下げとミニマム・アクセス米の拡大を許さず、食料自給率向上と地域農業の振興を求める請願

「品目横断的経営安定対策」にかかわる請願(2件)

地方切り捨てをせず、住民の安全と安心を守る公的機関の役割を重視し、住民のサービス向上を求める陳情  
佐渡市議会「特別任期見直し」についての陳情

## 否決となった決議

佐渡市議会の解散に関する決議が金光議員より提出され、賛成・反対の討論をおこなった後、投票による採決の結果、賛成16票、反対40票で否決されました。



# 一般質問



# ココが

# 聞きたい!!!

- 大澤 祐治郎 議員 ..... 5  
弱者切捨ての本音が見えた
- 加賀 博 昭 議員 ..... 5  
国保は上げないとの答弁を引き出す
- 田 中 文 夫 議員 ..... 6  
地味でも実のあるサービスこそ大事
- 肥 田 利 夫 議員 ..... 6  
未登記道路用地の固定資産税について
- 祝 優 雄 議員 ..... 7  
道路交通法改正に伴う問題点
- 村 川 四 郎 議員 ..... 7  
妙見山に新設のカメラについて
- 池 田 寅 一 議員 ..... 8  
県道佐渡一周線と  
林道大佐渡北線の整備促進を
- 本 間 千 佳 子 議員 ..... 8  
少子化と男女共同参画の社会環境について
- 佐 藤 孝 議員 ..... 9  
組織改革における本庁・支所間の  
業務分担は

- 廣 瀬 擁 議員 ..... 9  
佐渡観光に数値目標なし
- 金 光 英 晴 議員 ..... 10  
市長の政治姿勢について
- 大 石 惣 一 郎 議員 ..... 10  
「辺地」から内発的発展努力で  
生まれ変わる地域「変地」へ
- 島 倉 武 昭 議員 ..... 11  
国営かんばい事業推進状況について
- 小 杉 邦 男 議員 ..... 11  
ミサイルレーダー配備に同意したのか
- 中 村 良 夫 議員 ..... 12  
新市建設計画見直しは  
市民への説明責任がある
- 近 藤 和 義 議員 ..... 12  
新型レーダー配備を支持する



一般質問

大澤 祐治郎 議員

# 弱者切捨ての本音が見えた



画にある。これは可決をみたが、所管委員会の廃案にすべきとの意見を委員長が審査報告したはずだ。インターネットで防災機能は十分である。歴史的観測からしても過去200年の間に佐渡が沈没する大津波はなかった。重複予算は厳禁すべきだ。相川のおけさ会館がアスベストで使用不能である。観光立島の立場から早急に建築すべきだ。14億円の防災行政無線費を削除して、貴い財源を有効活用すべきだ。

# 国保は上げないとの答弁を引き出す



会見で市長は「FPS X」、通称ガメラレーダーの妙見山設置について、火の海にしてやるとういう国がある以上、設置には賛成だ」と発言したが、これは

【質問】平成17年度に比べ39億円縮減の一般会計458億円。特別会計303億円の18年度予算がスタート。中央集中型で身勝手へき地・過疎地切捨て型の冷酷で思いやりの微塵も感じ取れない。市長は出身地の真野に、税収が7億足らずにも係わらず全体で200億円しか使えない合併特例債の枠内から、18、19、20年の3か年に何の至急性のない順位をすべてA級に上げて、陸上競技場32億円、小学校と給食センター合築14億円、西三川デイサービスセンターと合築保育園3億円、在宅介護支援センター12億円、多目的運動公園等60億円近い巨費が偏った使い方をされようとしている。

【質問】にさらされながら、一本の道路に、百年の河清を持つた人には、毎年の予算の張付けを祈っている。20年の市長選挙の地元サーピスだとかとやたらに「公平」を連発する市長のリップサーピスに大きな疑問を抱く。

【質問】合併協議会策定計画に沿ったままで、あくまでも偶然である。全く予見、他意はない。

【質問】消防無線を協調する外周の遠隔地に7本のアンテナ塔だけは、建設させてほしい。

【質問】両津港赤玉線の拡幅はどうなったか。

【質問】大澤議員の度々の要望にある両津港赤玉線は、土木部長に機会あることに指示をして振興局と連携を取らせている。大事な路線と十分認識している。

【質問】防災行政無線は無用の長物

【質問】防災無線12億円が計

【質問】辺地では、合併の恩恵を知るすべもなく、命の危険

【質問】防災無線12億円が計

(単位:千円)

防災行政無線整備事業	1,189,268
普通旅費	150
消耗品費	70
光熱水費	300
設計監理業務委託料	8,232
土地貸借料	150
防災行政無線整備工事	1,180,000
電波利用料負担金	366



一般質問

加賀 博昭 議員

# 国保は上げないとの答弁を引き出す



会見で市長は「FPS X」、通称ガメラレーダーの妙見山設置について、火の海にしてやるとういう国がある以上、設置には賛成だ」と発言したが、これは

【質問】国民健康保険は、20市で佐渡市が一番安い。理由は平成16年12月議会で、2億5800万円を基金に積むというから、私は厚生常任委員会が予算修正で保険税を安くすると主張して安くしている。基金保有額は今も20市で上位5位にある。

【質問】8月本算定では現状維持が可能だ。

【質問】前年を上回らないようにしたい。

【質問】ガメラレーダー設置の同意はあるのか

【質問】佐渡市は、環境特区にふさわしい島だ。私が提案した天ぷら廃食油のBDF(バイオ・ディーゼル燃料)は、4台のマイクロバスを走らせて大成功だ。今度は、インディカ系の多収種米「北陸193号」

【市長】旧両津市の計画の森だが、経過を踏まえ観光資源の開発を視野に検討したい。

【質問】ガメラレーダー設置の同意はあるのか

【市長】旧両津市の計画の森だが、経過を踏まえ観光資源の開発を視野に検討したい。

【質問】佐渡市は、環境特区にふさわしい島だ。私が提案した天ぷら廃食油のBDF(バイオ・ディーゼル燃料)は、4台のマイクロバスを走らせて大成功だ。今度は、インディカ系の多収種米「北陸193号」

【市長】旧両津市の計画の森だが、経過を踏まえ観光資源の開発を視野に検討したい。

平成18年度当初の1人当たりの国民健康保険税(料)額

順	市名	金額
1	佐渡市	46,906円
2	妙高市	54,308円
3	見附市	56,051円
4	五泉市	57,951円
5	阿賀野市	58,979円
6	上越市	59,395円
7	十日町市	59,457円
8	南魚沼市	60,546円
9	加茂市	61,121円
10	魚沼市	61,513円
11	柏崎市	61,576円
12	小千谷市	62,011円
13	新発田市	63,469円
14	燕市	65,036円
15	村上市	65,139円
16	長岡市	65,699円
17	系川市	66,031円
18	新潟市	66,092円
19	三	66,395円

一般質問

田中 文夫 議員

# 地味でも実のある サービスこそ大事



市有財産の適正な  
維持管理と有効活用

**質問** 市有財産の取扱いが  
ずさんと思われるが、実態  
はどうか。

**市長** 確かに、支所を回ると  
放置や積み上げられた物  
品・肖像画あるいは記念品  
・書画など散見する。3年  
経ったので今のうちにきち  
んとした管理の仕組みを作  
らないと散逸・劣化の問題  
が出るので早急に対処した  
い。

**防災官財課長** 財産台帳の整  
備が必要ということで、電  
算システムを導入し新しく  
できた本課で一元管理をお  
こなう。ただ、緒についた  
ばかりで、旧市町村の財産  
は、各支所が引き継ぎ管理  
していて、本課で台帳と現  
物との突き合わせはできて  
いない。

**質問** 市有財産の有効活用  
を考えているか。

**防災官財課長** 個別には、赤  
泊小学校徳和分校を財団法  
人赤泊振興公社に売却とか、  
業者から赤玉小学校の購入  
のオファーが入るなどある  
が、6月に「市有  
財産検討委員会」  
という庁内プロジ  
ェクトチームを立  
ち上げたので、個  
々の市有財産の管  
理、あるいは処分  
方法、方向性や実  
際の計画をここで  
やっていく。

**精神障害者施策  
の拡充について**

**質問** 現状認識と  
考えを問う。

**市長** 旧郡部は県  
に任せていた経緯  
もあり、専門家



民間に指定管理された小木の湯

育っていない。佐渡市は発  
現の比率が高いと聞いている  
ので、いつまでも県に頼  
ってはられないと考えて  
いる。

**福祉保健部長** 今まで医療に  
偏っていた面があるので、  
今後は福祉に厚くしてい  
ざるを得ない。本年策定予  
定の障害福祉計画には、二  
ーズを把握し関係団体の要  
望も盛り込めるよう努める。

一般質問

肥田 利夫 議員

# 未登記道路用地の 固定資産税について



**質問** さる5月26日の新  
潟日報紙上に報道された旧  
佐和田町で、昭和48年から  
平成18年までの34年間、道  
路用地として買収した土地  
に固定資産税を課していた  
件の詳細と経緯について

**市長** 詳細については  
市道河原田幹線2号の道  
路拡幅工事で、昭和48年  
度に買収した9人の登記  
手続きがされていなかった。  
結果、工事前の状態でも  
大に賦課徴収してきた。  
平成18年4月に、地方税  
法に基づく更正手続きをお  
こなった。

5年間の還付金額は23万  
7000円である。  
経緯について  
平成17年9月から佐和田  
支所に、地権者から公図  
と現況が異なると申し出

**質問** 4月の更正手続きをおこな  
った。

**市長** 平成16年、17年の9  
月議会での未登記分処理一  
覧に含まれていない新たな  
事例であったため。  
**質問** 5月30日の全員協議  
会に付議した理由は、

**市長** 当時、間違いないと  
いう報告を受けたが、結果  
として違った決裁をした。  
**質問** 30年以上も課税して  
いたわけだが、還付の意志  
はあるか。先の相川の場合

は、平成7年から8年間全  
部還付したか。  
**市民課長** 平成10年分から  
還付した。それ以前はデー  
タが無かったのだからほ  
れなかった。

**質問** データがなかったと  
は言えないと思う。やる気  
があればできるはずだ。事  
例もある。30年以上も納め  
させていたが、どこまで還  
付する意志があるか。まさ  
か、データがと言わない  
だろう。

**市長** 合併前のことが非常  
に長いので、全部精査して  
誠意をもって応えたい。  
**質問** 第三者同士の売買で  
はなく、課税する立場の者  
が買収し、登記を怠ってき  
たのだから時効を主張すべ  
きではない。これは善意の  
占有とは言いがたく、税法の  
時効も成立しないと思うが  
市長の決意は、

**市長** 誠意をもって全体を  
明らかにし、適切な対処を  
したい。

一般質問

祝 優雄 議員

道路交通法改正に伴う問題点



【質問】6月1日から道路交通法が改正され、駐車禁止区域での違反取締りに民間委託を導入し、違反車両には即違反標章を取り付けることに改正されたため、商店街などで混乱がある。この改正に伴い規制緩和として、駐車禁止区域の変更もおこなうと聞くが、地元説明や警察との事前協議がなされているのか。

【市長】道交法改正について、今まで警察から話があったとは聞いていない。担当に説明させる。

【防災費財課長】今回の法改正に2つのポイントがある。1つは民間に放置車両の取締りを委託することができることであるが、佐渡では警察が直接取締りをする事になっていない。2つ目のポイントは、放置違反者が反則金を納めな

いときは、車両の所有者に反則金が課せられる。佐渡の場合、取締り（指定規制区間）重点区域を設け、その他は駐車区域の緩和がおこなわれている。国道は重点路線で駐車は禁止となり、重点地域は4か所ある。両津は佐渡汽船周辺と上町十字路から若宮通りを経て労働基準監督署まで。金井は佐渡病院周辺、甲斐家具店から金井小学校を通過して北陸農政局まで。佐和田は本町十字路から旧商工会まで。真野は新町三又路交差点からJA真野信号まで。

側駐車などのルール作りがなければ商店街は死んでいる。国は今国会で都市計画法を改正して、中心市街地の活性化法を決めていて、このことも矛盾している。対応を急ぐべきである。

【質問】趣旨は解かった。以前より駐車禁止区域は狭まったが、商店街には非常に大きな影響を与えていることは実感している。ぜひ話し合いをさせていただき、良い方向を見出していきたい。



駐車車両とともに人影も消えた商店街

一般質問

村川 四郎 議員

妙見山に新設のカメラについて



【質問】FPS XX（カメラレーダー）配備の背景と防衛庁からの事前打診の有無と見返りは何か。

【市長】佐渡配備の直接の打診はないので見返りについては不明である。県議会での意見書は賛成

【市長】佐渡配備の直接の打診はないので見返りについては不明である。県議会での意見書は賛成

【防災費財課長】新設レーダーは国の防衛施策の一環で、航空機の警戒監視と弾道ミサイルを探知追尾する固定レーダーである。

愛国心・国を愛する心は必要では

【質問】国民アンケートで81%の人が、愛国心教育が必要と答えている。政治の右左と関係なく、郷土愛＝祖

国愛とは、故郷の自然・風土・歴史・文化等を愛することであり、国旗掲揚と君が代斉唱を含め、市独自の教育方針の設置が必要ではないか。

【教育長】国旗・国歌は今まで通り学習指導要領で進めている。家族や隣人、郷土の自然や環境、文化に思いやる心や態度を身に付けることが信頼される国民として大切と考える。本年2月の「学校教育基本構想・佐渡の人材育成事業」にも「郷土を愛し、夢と誇りを持つ教育の充実」を掲げている。

障害者自立支援法の就業支援について

【質問】障害者自立支援法での市の就業・雇用支援の充実を求める。

【社会福祉部長】障害者に支援費の一部負担を求めるが、最終的には自立を目指す法律で、市には就労支援等の義務がある。今後、具体的支援体制を検討する。

一般質問

池田 真一 議員

### 県道佐渡一周線と 林道大佐渡北線の 整備促進を



**〔質問〕** 島民生活や産業振興の生命線である県道佐渡一周線は、未改良箇所や道路防炎上、極めて危険箇所も多く、いったん災害が発生すれば災害に対応する迂回路もない状況である。特に、通称海府線の戸地 戸中間には迂回路もなく、災害時の住民生活の不安解消や人命にかかわる救急医療などに対応する迂回路の新設について市長の考えはどうか。

**〔市長〕** 危険度の高い緊急を要する箇所から県に工事をお願いしている。

**〔建設部長〕** 危険箇所は88か所、防災対策は県と市で合同点検をおこなう。戸地 戸中間の迂回路新設については、現地調査を実施している。

佐渡縦貫線のトンネル化について

**〔質問〕** 平成10年5月に佐渡縦貫線(入川 両津間)の通年交通の確保によって、生活圏域の交流と、一島一市を目指し、均衡のとれた地域建設の要望書が提出され、5年後に調査費」と県議会に答弁されたと報道されたが、その後の経過はどうか。

**〔市長〕** 当時、大きな夢を持って語られたトンネルであったが、県は現在厳しい状況におかれ、その後の音さたはない、詳しくは建設部長から。

**〔建設部長〕** 指摘のとおりであるが、社会情勢の変化と、県の財政事情もあってトンネルは困難な状況にある。

**〔質問〕** 広域基幹林道大佐渡北線は、着工



広域基幹林道大佐渡北線

以来、実に21年が経過している。完成年度はいつか。林道敷地の所有権移転登記と林道の維持管理はどうなっているか。

**〔市長〕** 林業経営に利用する林道は、地権者の同意を得て施工後に移転登記をおこない、林道の維持管理は集落などに委託している。県の事業であり、完成予定は平成28年ごろと聞いている。

**〔産業観光部長〕** 林道用地は無償提供であり、国土調査の関係もあって、一部未登記箇所もあるので国調完了地区から順次分筆登記を進めていきたい。

一般質問

本間 千佳子 議員

### 少子化と男女共同参画の 社会環境について



**〔質問〕** 合計特殊出生率が過去最低の1・25に落ち込んだため、実効性のある少子化対策が求められている。東京では0・98に下落、新潟県は1・29と全国平均をわずかに上回り、佐渡市は1・54である。農山村や離島など、子育てを支えてくれる環境にある所や、高齢者の多い所は減少率が低い傾向にある。出生率を通し、市長の少子化対策を問う。

**〔市長〕** 子育てに不安と負担感を抱くことから、家事や子育てに男女でかわることや、三世同居の温かさや、地域社会全体での子育てが見直されている。この2年間、子育てに関する支援をおこなってきたつもりである。その他、延長保育や児童館の充実、結婚まぎわの人たちにも工夫をしていきたい。

**〔質問〕** 男性の家事・育児時間割合が低い傾向にある。性別役割分担意識が強い地域は、出生率が低くなっていることから男女共同参画社会の推進が少子化対策には欠かせない。労働政策を積極的に取組む考えを問う。

**〔市長〕** 男尊女卑の時代から女性の社会進出の時代がきた。北欧など仕事のあり方が変わってきている。

**〔福祉保健部長〕** 育児休業制度の利用は、就学前で女性が31・7%、男性が2.2%の二一調査がある。今後、県の動向を見て目標を定めていきたい。

**〔質問〕** 不妊治療助成制度にできない悩みや、治療費が莫大で手が届かない等の厚



合計特殊出生率とは、15歳、49歳の女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に産む子どもの数に相当。



上越市高田公園の観桜会

## 組織改革における 本庁・支所間の 業務分担は

一般質問

佐藤 孝 議員



**質問** 部長制を導入しても、本庁・支所間の役割分担が明確でなく、支所の決裁権は全くない。三位一体ではないが、権限は移譲し予算が伴わないのはなぜか。

**総務部長** 支所の自主性は損なわないよう、本庁と支所の連携を密にし解消したい。

**質問** 1年目、2年目と大幅な異動をしたのはなぜか。

**市長** 異動が激しいのは良いことではない。支所の事

いる。

**質問** ケーブルテレビの今後の運営方針について、平成23年7月から地上デジタル放送が開始されるが、高いテレビやチューナーを購入しなければならなくなり、ひとり暮らしのお年寄りやホテル等の宿泊業の方々は大変困った状態に陥ると思うが、平成23年以降もアナログ送信をすべきである。

**市長** デジタル放送に切り替わった後も、数年間はアナログで流したいと要求を続けていきたい。

**質問** 島内のイベントについては、支所によって一人の担当がすべてをこなさなければならぬ状態である。今後どうするのか。

**市長** 本庁職員も勤務時間以外であれば、積極的に地元イベントに参加するよう指示を出したい。

**質問** 市の遊休地を宅地造成し、販売をする計画はあるか。

**市長** 民間に払下げをする等の処置をし、民間の力を借りてやっていきたい。

**質問** 5月初めに移行後の現況調査をおこなっているが、クレームも来ているところもあるので、今後適切な管理指導をおこなってほしい。

**市長** 今後の施設については、廃止や譲渡を現在検討している。

## 佐渡観光に 数値目標なし

一般質問

廣瀬 擁 議員



**質問** 佐渡における観光業者が現状を維持するために、最低限必要と思われる観光客数及び年間の経済効果はどのくらいとらえているか。

**市長** 大変難しい問題である。どこに数字の軸足を置くのか、観光客の質によっても違うし、地域によっても異なるので、いろいろなデータを集めて対応していきたいと考えている。

**質問** 佐渡観光の体質を変えるために、まずやらなければならないことは何か。

**産業観光部長** バブル後の旅行形態の変化、個人客へのシフトの遅れがあったと考えられるので、個人客への対応、情報の発信、魅力づくりは今後重点的に取り組みたい。

加、現在一千万円余りの未納がある。

**質問** 平成17年度に一番時間外の多い人の時間数と職場はどこか。

**総務部長** 年間1013時間で、学校教育課である。

**質問** 業務量に対して適正に人員配置がなされているのか。一職員に対して時間外命令を集中しておこなうのは、いじめとしか思えないが。

**教育次長** いじめではないが、学校コンピュータのウィルス対策を私の指示で参加団体に所属してはいる。

**産業観光部長** 各実行委員会に補助金を出しているので、ホテル関係の入湯税未納1079万6千円

**質問** 消費税や入湯税はお客様から先にいただいているものだが、未納などはないか。また、過少申告等はないのか。

**税務課長** 過少申告が指摘されているので、本格的に調査に乗り出したこと増

平成17年度時間外手当上位3人の詳細

	時間外数 (時間)	時間外 手当額 (円)	1月当たり 時間外数 (時間)	1月当たり 手当額 (円)
1	1 013	2,125 485	84 4	177,124
2	644	1,608 578	53 7	134,048
3	512	1,585 041	42 7	132,087

一般質問

金光 英晴 議員

# 市長の政治姿勢について



**【質問】** 社会福祉協議会へ高給与で派遣中の市職員の改善を指摘したが、どうなったか。

**【市長】** 本年度は3人減らし、羽茂と小木の2人になった。今後は新組織への移行の過程で調整する。

**【質問】** 県立スポーツハウスの市への移管は、条件が大変不利だ。莫大な維持管理費用が今後必要となる。1億円ぐらいかかる解体費用を含め、再度条件を詰めるべきではないか。

**【市長】** 当施設は、真野町時代からのながい経緯の中で、県から今回の条件提示が「それでのめないなら廃止する」との厳しい通告があり、やむなく受け入れたことを理解していただきたい。

## 行政改革について

**【質問】** 職員数改善に業務目的別職員数を含めて検討しているか。今後、前三重県知事・北川正恭氏の講演をどう生かしていくのか。

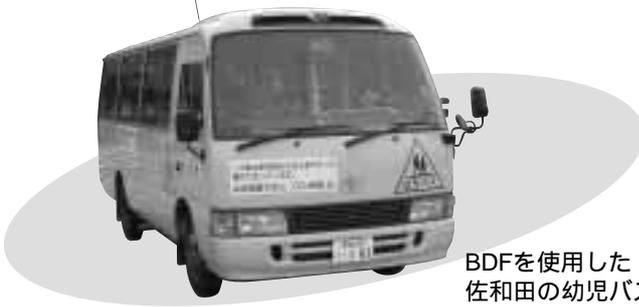
**【市長】** 類似団体と比べ職員数はかなり多いが、行革推進委員会の示した方向性で削減を進めていく。北川氏の講演を身を引き締めて受け入れ、必ず前向きに取り組んでいく。

バイオ・ディーゼル燃料 (BDF) について

**【質問】** 今までの経過と今後の取組みについて問う。

**【市長】** 現在、佐和田支所に作業員を一人置き、市内7か所の給食センターから集めた廃食油を精製し、公用車4台に利用し順調である。

**【企画財政部長】** 精製油は歩溜



BDFを使用した佐和田の幼児バス

まり率90%といわれるが、佐渡市では95、97%と好結果である。今後は車も2台ほど増やしたいし、一般家庭からの集油や菜の花からの精製も検討している。

**【質問】** 学校の空き瓶収集のよつに環境教育の一環として、家庭の廃食油収集を取り入れてはどうか。

**【教育長】** 環境教育教材として大変有効と考える。総合学習やボランティア活動の中で検討していきたい。

一般質問

大石 惣一郎 議員

# 「辺地」から内発的発展努力で生まれ変わる地域「変地」へ



**【質問】** 平成19年度から導入された各種の新農政に、農地の維持管理自体が困難な状況にある中山間地各集落にどのよう指導するのか問う。

**【市民環境部長】** 両津東部地域のごみ収集カレンダーの記載ミスは、住民から指摘されたので、辺地切捨てとしか思えないごみ対策について問う。

**【市長】** 今までは、市とJAが一体感ある施策を取れていなかったことが問題であり、今後は、JAとの連携を強化し定期的に協議会を開催する。

**【質問】** トキ試験放鳥が迫っているが、放鳥予定地の小佐渡東部中山間地域の何集落が理解しているのか。また、具体的支援策はあるのか問う。

**【環境課長】** 17年度は、官民でチームを組み、小佐渡東部7地区で地域座談会を開催した。農業への被害補償等の質問も出た。

**【教育長】** 教育委員会としては、本年3月に統合計画案をまとめた。今後、できない中の、白色トレイの回収

表したい。

**【学校教育課長】** 学校給食は、食に関する指導の「生きた教材」として大変重要であり、地産地消等を積極的に取り入れるためにも、センター方式とする。

**【質問】** 佐渡市に多く存在する市対策案はあるのか問う。

**【市長】** 地域の活性化を図るだけでは、対応は困難な状況にきているので、職員が集落に向き対応する「出前市役所」などの対応策を考えている。また、通信網の整備、携帯電話不感地域の解消等により、独居老人等との双方向通信が可能になるよう整備に努めている。

**【質問】** 佐渡市学校教育環境整備検討委員会の具体的な答申は、いつ市民に公表するのか。また、地産地消・食育が広く世間で叫ばれる時代に、逆行するような給食のセンター方式への移行はなぜか問う。

**【環境課長】** 17年度は、官民でチームを組み、小佐渡東部7地区で地域座談会を開催した。農業への被害補償等の質問も出た。

**【教育長】** 教育委員会としては、本年3月に統合計画案をまとめた。今後、できない中の、白色トレイの回収

表したい。



100羽記念のトキのぬいぐるみ



一般質問

鳥倉 武昭 議員

# 国営かんばい事業 推進状況について



**〔質問〕** 計画が進展しない国営かんばい事業の今後の推進について、6月定例会で予算補正した「国営・県営総合土地改良事業同意徴収員謝礼」の委員の人選について、また、本事業で旧町村が基金の積立てを実施したが、基金運用はどのようになっているか問う。

**〔市長〕** 国営かんばいについては、今年2月、農林水産大臣の計画変更概要の報告縦覧がおこなわれ、農林水産大臣からの予定管理者である関係土地改良区への協議がされた。今後、農林水産大臣と知事との協議の後、計画概要が済みしだい、受益者より同意を取る作業に入る。

**〔産業観光部長〕** 基金積立額、旧畑野町1億3000万円、旧真野町1億7000万円、旧小木町4000万円、旧

とにし、3月の卒業式より実施する。

**〔質問〕** 昨今教育現場では、不登校、虐待、誘拐など社会問題になっている。子どもと一般市民の日常あいさつなど、対応がうまくおこなわれていない状態ではないか。教育委員会と学校は良い対応策を考えているか。

**〔教育長〕** 登下校時には、スクールガードパトロールを市民の皆様から協力いただき実施をしている。子どもと市民が明るく元気良くあいさつが交わされる明るい地域づくりは、地域を挙げての取組みが必要であり、家庭・学校・地域が連携を密にして関係機関の協力のもと、地域の安全・安心なコミュニティづくりが大切だと考える。

**〔質問〕** 昨年12月議会で中学校の入学式、卒業式の式辞にビデオテープ、DVDの使用について、教育委員会で検討することであったが、本年度は実施されなかった。検討結果を聞きたい。

**〔質問〕** 昨年12月議会で中学校の入学式、卒業式の式辞にビデオテープ、DVDの使用について、教育委員会で検討することであったが、本年度は実施されなかった。検討結果を聞きたい。

**〔教育長〕** 教育委員会で協議したが、各学校の式典会場に対応できない学校があるので、来年度より教育委員、教育委員会職員が直接学校へ出席して式辞を伝えるこ



今年春、試験貯水した小倉ダム



一般質問

小杉 邦男 議員

# ミサイルレーダー 配備に同意したのか



**〔質問〕** 防衛庁は、妙見山頂衛庁に問い合わせる。

**〔質問〕** 防衛庁は、妙見山頂衛庁に問い合わせる。

ダイオキシン検出の原因と今後の対策は

**〔質問〕** 真野クリーンパーク（最終処分場）でのダイオキシンの検出の原因と今後の対策を問う。

**〔市長〕** 正式同意はしていない。今あるレーダーの取替えくらいに受け取っていた。島民の身の安全が犯される

ことがないか施設内容を防

**〔環境保健部長〕** 同様の施設の後、事務処理については、事務処理マニュアルを作った対応していきたい。

**〔市長〕** 観光の中心地と位置付けられた相川の観光対策は

**〔環境保健部長〕** 同様の施設の後、事務処理については、事務処理マニュアルを作った対応していきたい。

**〔市長〕** 相川市街地再開発計画を推進、国や県の補助を受けての町並み再生保存に力を入れ、観光客の取込みを図りたい。



ダイオキシンが検出された真野クリーンパーク

一般質問

中村 良夫 議員

### 新市建設計画見直しは 市民への説明責任がある



「方式を原則とする考え方は。」  
**教育次長** 効率的な面、学校統合、人件費、光熱費等を考えるとセンター方式はやむを得ない。

**質問** 日本郵政公社の集配拠点再編計画に対し、民営化はやむを得ないとしても佐渡の郵便局のサービス低下は困る、維持してほしいというの強い願いだ。本市として緊急対応を進める必要があるが。

**市長** 議会におかれても郵便事業に関する意見書を全会一致で採択された。佐渡市にとって集配業務効率化がサービスの低下になると懸念されるので、議会と歩調を合わせて郵政公社に現在の集配機能を存続するよう強く要望する。

**質問** 介護保険法の改正で、4月から創設された地域包括支援センターの業務車両に駐車禁止除外の標章が付されるために、県福祉保健部、社会福祉協議会と協議したか。

**福祉保健部長** 在宅介護支援センターで駐車許可ができる仕組みになっていたのだからという認識であったが、地域包括支援センターについて急ぎよ手続きをし、許可をもらった。

**質問** 5月30日に行革特別委員会学校・保育園の統廃合計画の原案が説明された。廃止・統合対象となる学校名、保育園名は。

**教育長** 具体的な校名については決めていない。

**福祉保健部長** 両津地区は9園をおおむね5園、相川地区4園をおおむね3園、佐和田地区はそのまま4園、金井地区は3園、新穂地区は1園、畑野地区は4園をおおむね2園、真野地区は2園、南部は3園とし、平成23年までを前期とした統合計画である。

**質問** 小中学校の学校給食を自校調理方式からセンター

一般質問

近藤 和義 議員

### 新型レーダー 配備を支持する



**質問** 高まる北朝鮮と中国の脅威から日本国民や佐渡市民の生命・財産を守るための新型レーダー配備に対して、これを支持するが、同レーダーの概要や配備計画の市民への説明及びその理解と協力が不可欠と考える。

**市長** 今後、安全の確認や観光、環境への影響を聞いてその決断をする。

**質問** 民生安定事業は平成13年度までで中断しているが、市営平スキ―場整備等の今後の計画は。

**企画財政部長** 新市建設計画の中から申請できるものを検討する。

**佐渡の農業振興に  
取り組み**

**質問** 品目横断対策は、財界の工業利益のために関税の引き下げや撤廃により、

「日本の農業を犠牲にするものであり、これに対応するためには、佐渡農業独自の戦略と活路が必要である。私の以前からの提案である佐渡米のPR、佐渡の農産物輸出、花粉症緩和米導入等に対するの具体的な答弁が未だにない。またBL米は、コシヒカリとは別品種であり、食味も落ちたので売れない。佐渡では、従来品種のコシヒカリを栽培・販売することが魚沼米に勝てる千載一遇のチャンスと確信する。この私の4つの提案に対し、早急に取り組むべき覚悟と決意をいただきたい。」

**市長** 議員の提案に対して今後は議員の知恵も借りて新任の部長にきっちりさせる。

**産業観光部長** 議員からの指摘に基づいて精一杯努力する。貴重な提案なのでできるだけ早く検討に移りたい。

**農業振興課長** 部長の意見のとおりである。



水稻の全国品種別収穫量及びコシヒカリ血縁率

順位	品 種 名	収穫量(%)	コシヒカリ血縁率(%)
1	コシヒカリ	37.1	100
2	ひとめぼれ	10.0	75
3	ヒノヒカリ	9.2	50
4	あきたこまち	8.8	50
	計	65.1	
	コシヒカリBL	(戻し交配5回)	98.4

・収穫量は平成17年産、農林省統計から

米価の推移 (農家手取り)

	コシヒカリ1等(60kg)	備考		コシヒカリ1等(60kg)	備考
平成 6年	23,950		平成12年	18,425	
平成 7年	23,388		平成13年	18,014	
平成 8年	23,563		平成14年	18,592	
平成 9年	20,462		平成15年	22,168	冷 害
平成10年	20,788		平成16年	18,146	台風害
平成11年	18,828		平成17年	16,000	仮渡し

・佐渡市産業観光部資料から

# 常任委員会 活動報告

## 総務

当委員会に付託された議案は、平成17年度佐渡市一般会計補正予算(第10号)

の専決処分承認を求めることについて、佐渡市両津青年研修所条例を廃止する条例の制定、小型動力ポンプ付水槽車(B 3級)購入契約の締結、平成18年度佐渡市一般会計補正予算(第1号)が主なものでした。継続審査中の「個人所得課税における各種控除の安易な縮小をおこなわないことを求める」請願、「地方切り捨てをせず、住民の安全と安心を守る公的機関の役割を重視し、住民のサービス向上を求める」陳情は、引き続き審査を必要とするので、閉会中の継続審査としました。

審査の結果、両津青年研修所に

については、老朽化が著しく市民の利用に支障を来たしているので、解体とともに跡地の利活用についても早急に検討すること。新潟県住宅供給公社が上横山賃貸住宅を建設するにあたり、公社の民間金融機関からの借入金に対し市が損失補償することについては、市が建設することも含め、限られた財政の有効的な執行に配慮するため、事業の実施方法を再検討するべきとの意見が出されましたが、原案のとおり可決すべきものとして決定しました。



小木地区の佐渡太鼓体験交流館

## 市民 厚生

現況の田としては相当高額であると指摘したところ、新穂村時代に公共的用地として予定された土地であり、既に建設されている隣接の保育所用地と同等の価格である等説明がありました。

6月定例会において、市民厚生常任委員会における付託案件は、条例改正3件、条例廃止1件、条例制定2件、平成18年度老人保健特別会計補正予算1件、財産の取得1件の以上8件であり、いずれも原案どおり可決すべきものとして決定しました。

付託案件中、議案第116号財産の取得については、新穂瓜生屋地内の土地5769平方メートルを特別養護老人ホームの用地として社会福祉法人愛宕福祉会に無償貸与するために、当該地を取得することについて議会の議決を求める内容でした。

審査において当該地の購入価格は、



特養ホーム用地として購入した新穂瓜生屋地内の田

# 産業 経済

当委員会に付託された議案は22件と、予備審査2件、請願4件、継続審査中の請願2件は引き続き継続審査となりました。

の請願2件であり、6月16日、19日、20日の3日間で審査しました。審査の結果、議案と予備審査はいずれも可決し、請願2件が採択、1件が継続審査、継続審査中の請願2件は引き続き継続審査となりました。

議案の中で、意見が付された主なものは、「佐渡市ふすべ村体験施設の設置及び管理に関する条例の制定について」は、現地調査をした結果、宿泊棟については利用者一人当たりの料金設定ではなく、



一棟の利用料金に変更をするなどして、宿泊利用実績の向上を目指すとして再考すべきとしま

した。

また、「佐渡市岩の平青少年旅行村の設置及び管理に関する条例の制定について」も現地調査を踏まえ、昭和50年建設の宿泊棟が老朽化しており、利用者も減少しているため、今後のあり方を検討すべきとしたものです。そして、「佐渡市林業施設と佐渡地域活性化多目的施設の設置及び管理に関する条例の制定について」は、それぞれの関係6施設と41施設を統合した新たな条例を制定するものであり、早急に関係地域と協議し、地元で払い下げを検討すべきとの意見を付して可決すべきものと決定しました。

この度は、編成替えをした委員での初めての委員会開催でしたが、当委員会の所管は、観光・商工・農林水産であり、佐渡の基幹産業すべてを包含した極めて重要な委員会です。しかし、いずれの産業も低迷を続けており、本来の使命である付託案件の審査は当然ですが、各産業の発展に寄与すべく、目に見える提言と成果を模索・研究したいと考えています。

# 建設 文教

佐渡市が発足して2年が経過しました。地方いじめとも思いたくなる国の「三位一体改革」の財政の逼迫を、新市建設計画の大幅な見直し等、誠に厳しい状況が続く、公共事業も激減し業況は大変なところであります。

当委員会では建設部、教育委員会の所管に属する事項について審査や事業への提言をしております。未

来ある子どもたちのため、また将来に負担だけを引き継ぐことのないように審査しました。さて、今回当委員会に付託された主なものに、新潟県が所有する「佐渡スポーツハウス」の管理運営に関する事務の受託の議案がありました。これは、平成19年に体育館や管理棟、21年にプール棟とテニスコートを、県が最低限必要な修繕をした上で市に無償譲渡することとし、それ



佐渡唯一の公認屋内プール(佐渡スポーツハウス)

までの間、県が管理運営費の一部を負担し、市が管理運営の事務を受託するものです。

審査において、体育館と管理棟は老朽化していることから、将来的に市の財政負担が大きくなると予想され、再度、県と交渉するた

めに反対との意見もありましたが、6万人以上の利用者がある中核的な体育施設であることと、県との交渉において異例ともいえる好条件を得たことを評価し、賛成多数で可決すべきものとして決定しました。

# 特別委員会活動報告

## 空港対策 特別委員会

空港こそ早期に

現空港計画は、平成4年7月に法線が確定してから14年が経過しようとしているが、依然一部の地権者から同意が得られない状況です。

新空港の整備については、産業面、観光面から必要不可欠のものであります。県は、県営空港の観点から、佐渡空港検討委員会を立ち上げ、この答申を受けて方向を見出そうと対策を模索しています。県も財政難が



ら、佐渡空港よりも優先順位の高い案件が多いが、現知事も前平山知事が公約したことは守ると断言しています。しかし2000メートル滑走路を堅持し、未同意者の方々の同意を得ることを前提としています。

当委員会では5月30日、執行部に出席を要請し、経過と今後の取組みを審査しました。

国土交通省や県への働きも含め、精力的な活動を展開することを確認しました。

## 議員定数 特別委員会

佐渡市議会

「特別任期見直し」についての陳情は継続審査に

当委員会は、3月定例会

最終日において、議員発議

で発足しました。付託事項は、次回市議選における議員の定数を何人にするかということです。また、今6月定例会初日において、市民から提出された、佐渡市議会「特別任期見直し」についての陳情も追加付託されました。この陳情の要旨は、議会内で生じている諸問題は、議員数が特例の60人であることが原因であり、議会解散、定数は正を求めていることでもあります。

両案件とも、議員の身分にかかわる重要な問題であり、慎重に審議をしていく必要があると認識しています。今議会では、市民から出された陳情についてを主に審議をおこないました。色々の意見が各委員から出されましたが、結論までには至らず、継続審議となり

ました。

議員定数については、全国の人口・面積・財政力など同規模の自治体の調査をおこないながら、慎重審議を進め、早期に結論を出したいと考えています。

## 行財政改革 特別委員会

当委員会への付託事項は、市行政及び新市建設計画の検証と公有施設の有効活用に関することです。5月30日と6月9日に委員会を開催し、各課の説明と審査をおこないました。

(1) 陸上競技場の規模及び建設予定地については、複数の候補地の建設予算総額を調査検討し、委員会への報告を求めることとしました。

としました。

(2) 学校及び保育園の統廃合計画の具体的年次について

は、前期（平成18年）23年（後期（平成24年）29年）の施設名と年次計画の報告を受け、特に前期については情報開示を急ぐよう求めました。



(3) 行政改革大綱及び集中改革プラン。

(4) 指定管理者制度の2点については執行部方針の説明を受け、今後検証、審査をおこなうこととしました。

(5) 公有財産及び施設の有効活用のうち、まず普通財産の管理計画50施設について、

未使用で設置 9施設  
未使用だが将来的に活用 2施設  
使用しているが老朽化今後処理必要 14施設  
代替機能を有する施設に用途移行後処理 4施設  
現状のまま 19施設  
以上の報告を受け施設の現地調査等を閉会中引き続き調査をおこなう予定です。

(6) 郵政公社の集配拠点再編案により統廃合される佐渡島内6局の集配局機能存置を求める意見書を議長に提出しました。



# 議会質問その後追跡

## アスベスト 対策を急げ (17年9月定例会での質問)

**Q** 市が管理する施設でのアスベスト使用の現状の把握と今後の市の対策を問う。

**A** **市長** 市の関係部署と国・県の関係機関とでアスベスト対策連絡会議を開催し、施設での吹き付けアスベスト等の使用の現状調査、今後の対策を協議している。

**総務課長** 8月に市の管理施設800棟について現地調査をおこなった。建築年度や設計図書等から42施設が疑いのある施設に該当した。多くは機械室、発電室等であるが、危険性の高い4か所はシャッターでの封じ込め、ビニールで覆う等密閉した。今後は緊急性の高い施設から検査を実践したい。

## その後

その後の検査の結果、次の施設においてアスベストの使用が確認されましたので、緊急性の高い施設から対策工事を実施することとしました。

- 18年度工事実施施設**
- こがね荘・いこいの村佐渡ときわ荘・両津小学校
  - 南中学校・佐和田中学校
  - 小本中学校
  - 金井コミュニケーションセンター
  - 佐渡中央会館
  - 佐渡市公民館
  - 両津文化会館
  - 真野体育館
- 19年度以降工事予定施設**
- 畑野就業改善センター
  - 南佐渡消防署
  - 旧南佐渡消防小木分遣所
  - 両津支所第1分館車庫
  - 佐渡会館
  - 新穂支所
  - 久知川浄水場
  - 旧南佐渡消防赤泊分遣所
  - 国仲清掃センター
  - 両津し尿処理センター

## 島内の外国人 登録者への 対応は (17年12月定例会での質問)

**Q** 現在、島内の外国人登録者にごどのようなサービスをおこなっているのか。また、今後サービスはどのようにしていくのか。

**A** **市長** 昨年の議会でも議員からの指摘を受けて、外国人登録記載事項証明書の英語版やポルトガル語版の記載サンプルを窓口を設置し、登録者に対する便宜を図った。

今後については印鑑登録事務手続きの外国語記載サンプルの設置や窓口の案内板、本庁舎内の誘導標識等に外国語標記をおこないたいと思っている。

**教育長** 佐和田公民館では平成11年から「サ

# 介護施設への入所待機者の解消策は

(17年3月定例会での質問)

Q

高齢者の介護施設の入所待機者の解消策は、また在宅介護への施策の充実に向けた対策への影響の見通しについて問う。

A

施設介護の待機者は、1月1日現在で478人おり、この内要介護度4～5の待機者が246人いるが、入所施設整備が必要と考えている。被保険者の給付と負担を総合的に検討しながら、市の施設整備だけでなく、民間業者の施設誘致も積極的に推進したい。現在の在宅介護サービスは、通所・短期入所・訪問サービス等が中心であるが、今後これを推進していきたい。認知症のグループホームやケアハウスの整備についても民間業者の誘致も含め推進したい。

介護保険制度の改正は平成18年4月1日の適用であり、改正内容は予防重視型システムへの転換、施設給付の見直し等がいわれている。施設入所者の居住費・食費については平成17年10月1日からの実施としており、大幅の負担増となる。この点は非常に問題があると考えている。

## その後

入所施設の整備については、新穂地区で特別養護老人ホームの整備を予定していて、18年度に用地の取得造成を市がおこない、引き続き施設整備については民間法人が実施し、施設のオープンは19年10月の予定となっています。施設規模は、入所80床、短期入所20床となっています。

また、在宅サービスとしては、18年度に真野西三川に保育園との合築のデイサービスセンターの建設を進めていて、金井地区においては民間事業者による認知症グループホーム(定員18人)及びデイサービスセンターが18年度中のオープンに向け整備が進められています。

## その後

外国人登録記載事項証明書の記載サンプルは、本庁及び各支所の窓口を設置しました。また、印鑑登録事務手続きの記載サンプルにつきましては、早急に英語版とポルトガル語版を窓口を設置します。

本庁舎内の案内板や誘導標識等の外国語表記につきましても、設置しました。

「インフラワーの会」がある。今後は佐渡全体に周知を図って利用をしてもらいたい。

**市民課長** 窓口業務では、印鑑登録に毎月5人くらいきているので、対応するため今後外国語標記もしたい。これは直ちにおこなう。

現在、外国人登録者は15か国646人で、産業に従事するブラジルから半分以上きています。

基本的にはポルトガル語と英語の表記で良いが、これからトキとの関係でハンゲル・中国語等によるガイド、パンフレットについても関係課で前向きに検討をしていく。

# 平成18年 3月定例会常任委員会の 要望・意見に対する処理状況

## 総務文教常任委員会

平成17年度佐渡市一般会計  
補正予算(第9号)について

**要望・意見** 減額補正及び繰  
越明許費についてはその額の  
多さについて昨年も指摘した  
ところである。必要な予算を  
要求し措置したにもかかわらず  
年度内に執行できなかったこと  
は、執行部の強いリ  
ーダーシップが発揮されなかつた  
ことにも大きな責任がある  
ものと思料される。トツマネ  
ーシメントの強化と事務事業  
評価制度を早期に導入する  
などで行政サービスの停滞  
をなくすよう強く要望する。

**財政課** 減額補正につ  
いては、入札による請負差額や  
他の事業等との調整及び災  
害復旧費の国の査定による  
工事費の減によるものが多  
くなっている。また、合併直後  
で事業経費の把握が不十分  
であったことも要因として考  
えられる。

繰越明許費についてはア  
スベスト除去事業が国の補正  
予算対応であったことが大き  
な要因であり、その他は工事  
に係る地元との協議や用地  
交渉、他の工事との調整に不  
測の日後を要したためである。

今後は、事業経費的的確  
な把握に努めるとともに、地  
元との協議や用地交渉及び  
他の工事との調整が図られ  
た事業から予算措置するよ  
うにした。

平成17年度佐渡市土地取得  
特別会計補正予算(第2号)  
について

**要望・意見** 本予算における  
公共用地先行取得事業関係  
経費3億2000万円の減  
額については、県営の漁港修  
築事業が遅々として進捗し  
ていないために、長年にわた  
り予算計上と減額補正を繰  
り返している。事業の進捗に  
は、今後多額の予算の投入が  
必要であり、国や県との協議  
を積極的におこなない、計画的  
な予算計上をおこなうべき  
と指摘する。

**防災管財課** 埋立て土砂  
を搬出する仮設ヤードの位  
置をめぐる地元との調整、土  
砂積出しの仮設棧橋の工法  
検討で時間を要し、過去2  
年間予算を減額してきたが、  
今後は施行主体の県漁港課  
と十分な連絡及び協議をお  
こない、事業の進捗見通しを  
精査し予算を計上する。

平成18年度佐渡市一般会計  
予算について

**要望・意見** 臨時を含む職員  
の人員費については、現在の  
実態では市民の理解を得る  
ことが難しいことを認識し、  
類似団体を調査するなど、  
本来あるべき姿を明確にし  
た上で職員研修による意  
識改革を図り、その結果を  
組織機構に生かし、今だから  
できる独自の機構再編によ  
り地域の発展と佐渡市の持  
続的活性化の基盤を作り上  
げることが肝要であること  
を強く指摘する。

**行政改革課** 行政改革へ  
の取組みについては、本年3  
月に佐渡市行政改革大綱並  
びにそれに基づく実施計画  
として集中改革プランを公  
表している。今後は、事務事  
業の見直し並びに職員の削  
減についてもこのプランに基  
づき改革を進めていく。

また、職員への意識改革に  
ついては、シンポジウムや研修  
等を効果的に実施し、市職  
員としての資質の向上を図る  
機構再編については、行政改  
革の実施に向けた体制づく  
りという考えのもと、今年  
度、課制から部制の組織再編

に着手をおこなうが、今後  
も状況を見据えて的確に対  
応ができる体制の構築を図  
っていく。

**要望・意見** 各種基金について  
はその管理は一元化し運用  
益の増大を図るとともに、繰  
り替え運用によって一時借  
入金を抑制し歳出の縮減に  
努めるべきであると思料する。

**財政課** 17年度末現在、  
条例で設置されているものは  
49あるが、残高のないものも  
ある。合併前の各市町村がそ  
れぞれの目的を持って条例  
設置していたため数が多いの  
で、設置目的等に応じた統合  
や廃止を図りたい。

現在、基金に関する収入の  
調定、支出負担行為、支出命  
令等は財政課でおこない、基  
金に属する現金及び有価証  
券の出納及び保管を会計課  
がおこなっている。繰替運用  
により一時借入金の利子抑  
制に努めたい。

**要望・意見** 地域ふるさと振  
興事業については、その費用  
対効果を十分に検討し、市  
民が広く参画し地域の産物、  
自然を活かし持続的におこ  
なわれる事業に対し補助す  
るべきである。

また、地域づくり活動に効  
果的な運用が図られる制度  
とするために審査方法や実  
績報告の実施などをNPO  
や民間団体等を交えて協議

し、本事業の実施要綱につ  
いて再度検討を加えること  
を望むものである。

**企画振興課** 地域づくり  
の観点から多くの市民から参  
画をしていただきたく、持続  
性があれば一次産業から三  
次産業まで幅広く対象とする。

また、審査会について市の  
組織も変わりましたので民  
間からの委員参加も含め再  
編の予定であり、採択基準・  
審査方法等について再検討  
するとともに、今後は4年後  
以降についても追跡調査を  
計画している。

**要望・意見** 防災行政無線整  
備事業については、既にイン  
フラネット、ケーブルテレビ、オ  
ントーク等の各種情報伝達手  
段を整備運用している地区  
もあることから、多額の経費  
を要する本事業は根本的に  
見直す必要がある。

**防災管財課** 防災行政  
無線は、災害時に、公平・迅  
速かつ正確に住民へ情報を  
伝えることができる重要な  
情報伝達手段であり、県の地  
域防災計画にも市町村での  
積極的な導入についての必要  
性が明記され、佐渡市として  
も、17年度から3年での整備  
を予定しているところである。

また、テレメーターによる気  
象状況の把握、荒天時の農作  
物等への被害軽減のための情  
報伝達等にも利用でき、消防  
無線との共有化も図れる。

ただし、事業の実施に当た  
り、多額の費用を要するとの  
意見があるため、財政面や地  
域の優先性などを総合的に  
判断し、効果的な実施計画  
にした。

**要望・意見** 陸上競技場整備  
事業については、新市建設計  
画の見直しがおこなわれてい  
ることを考慮し、新市として  
の政策に基づいた整備である  
という根拠を示すべきである。

また、位置と規模、周辺環  
境の整備、建設事業費など  
を十分に調査研究し、施設の  
整備効果を十分に得るため  
の利用計画も併せて示すべ  
きものと思料する。

よって、議会との協議を重  
ね将来に禍根を残さぬよう  
要望する。

**社会体育課** 陸上競技場  
整備事業については、短期事  
業として位置付け、本年度は  
建設に向けての調査等を実  
施する予定である。

また、競技団体等との協  
議を踏まえて、施設の整備効  
果を得るための利用計画づ  
くりをおこない、位置、規模、  
周辺環境整備及び事業費等  
については、関係機関や団体  
等との協議を重ねた上で整  
備事業の基本計画を作成す  
る予定である。

## 厚生常任委員会

佐渡市地域医療計画策定委  
員会条例の制定について

要旨 第2条に規定さ

れる当該委員会への諮問に  
当たっては、両市立病院の深  
刻な経営状況を十分考慮し  
た内容とされた。

保健医療課 当市の市立  
病院の財政状況は非常に厳  
しいものがあるが、当面は、  
き地医療と保健、福祉部門  
の医療業務を維持し、医師  
確保と佐渡総合病院との医  
業調整を図りながら経営改  
善を進める計画とする。

平成18年度佐渡市一般会計  
予算について

要旨 両津デイサービス

センターかんそう管理運営業  
務委託料については、17年9  
月定例会における総務文教  
常任委員会審査報告書の中  
で予算額の見直し等を強く  
求めたことと、このためであるが、  
当初予算額のとおり600  
万円で予算計上されている  
ため、当該委員会において説明  
を求めたことと、当該指定管  
理者の申し入れにより、当初  
予算額のとおり年度協定を  
締結したいとの答弁であった。  
このことは、議会と執行部  
の信義則にもとめて対応であり、  
当該委員会としては誠に遺憾  
であると言わざるを得ない。

市は、適正な金額で事業  
を委託するよう、指定管理  
者制度の基本に則した対応  
をされた。

高齢福祉課 総務文教常  
任委員会から予算額の見直

し等を強く求められていた  
ことから、当該指定管理者と  
その減額について協議をして  
きた。結果として、年度協定  
額は当初予算額とし、事業  
実績でその経費が当初予算  
額を下回った場合、その減額  
について、両者で協議・決定す  
るよう、年度協定書の中に  
減額についてのただし書きを  
明記して締結した。

以降初めて減少に転じており、  
当市においても、子どもを育  
てやすい社会を目指し、子育  
て関連予算の抜本的な拡充  
が幅広く必要であると思料  
する。

要旨 日本の人口は明治

乳幼児医療費助成事業は  
現行では就学前までの乳幼  
児が対象であるが、より一層  
制度を拡充されるよう努め  
られた。

要旨 保健医療課 佐渡市の乳

幼児医療費助成事業として  
は、現在のところ新潟県の基  
準を上回る助成をおこなっ  
ていて、その他に小児科初診  
時特定療養費の市負担もお  
こなっている。財政上の課題  
もあることから、当面は現行  
どおりとする。

要旨 佐渡市トキ野生

復帰実行計画によれば、20  
年度にはトキを試験放鳥す  
るものとされているが、現在  
の環境整備の進捗状況では  
目標達成は大変困難である

と言わざるを得ない。

トキの生息環境の整備に  
向けた取り組みをより強力に  
進められた。

環境課 環境省の試算に  
よると、小佐渡東部地域に  
60羽のトキが生息するには、  
採餌が可能で餌生物が豊富  
な水田が500ha、沢等が50  
ha必要とされている。20年度  
に予定されている試験放鳥  
に向けて、国・県と連携をこ  
り生息環境の再生と整備、  
環境保全型農業の普及、ボラ  
ンティア団体への支援等に取  
り組んでいるところであり、  
特に生態系保全型稲作への  
転換による餌生物資源量の  
回復と調整水田等の有効活  
用を含めた湿地レオトープの  
創出を重点に、農家の理解  
と協力を得ながら地域の整  
備目標を設けるなどとして鋭  
意取り組みを強化していき

要旨 こみ収集委託料

については、県内の状況を参  
考とし、割程度の減を目標  
とした段階的な是正に取り  
組んでいることであるが、  
合理的な調整をおこない、委  
託業者の人員費等の実態を  
よく把握して指導すること。  
廃棄物対策課 こみ収集  
委託料については、18年度か  
ら統一した算定基準に基づ  
いて委託料を決定した。

要旨 18年度から

統一した算定基準に基づ  
いて委託料を決定した。

要旨 18年度から

統一した算定基準に基づ  
いて委託料を決定した。

のはなかなか困難であるのが  
現状であり、19年度の委託料  
算定については、業者の実態を  
把握し、目標に近付くよう委  
託料の算定をおこなった。

平成18年度佐渡市国民健康  
保険特別会計予算について

本予算については、  
国民健康保険税をより正確  
に計上するために、予算編成  
の期限等に配慮された。

要旨 本年度予算の編

成時において、正確な医療費  
の見込みができないため、誤  
差が生じているものであるが、  
関係各課と打ち合わせでき  
るだけ正確に計上できるよ  
う配慮する。

要旨 両病院の経営状

況は極めて危機的な状況に  
あるため、18年度に策定され  
る病院経営計画により、経  
営健全化に配慮されるよう  
申し入れる。

要旨 今後、厚生省令によ

り、医師充足率が60%以下  
から70%以下に改定され  
る見込みであることから、医  
師の確保はより困難な状況  
となることをご予想されるので  
引き続き喫緊の課題として  
取り組まれました。

の医療業務を維持し、医師  
確保と佐渡総合病院との医  
業調整を図りながら経営改  
善を進める計画とする。

また、医師充足率の問題に  
ついては、当面の医師確保を  
最重要課題として取り組む。  
佐渡市介護保険条例の一部  
を改正する条例の制定につ  
いて

介護施設の設置  
及び介護サービスの充実に  
層努力された。

要旨 介護サービスの

充実に向け介護施設等  
の整備に努める。

建設常任委員会

佐渡市普渡駐車場条例の一  
部を改正する条例の制定に  
ついて

要旨 当該駐車場は佐

渡汽船乗り場の近くに位置  
し利便性が良いことから、そ  
のことを広く市民に周知し  
利用率の向上を図られた。

の促進も図ること。

建設課 優先するには、  
市の単独住宅かそれを目的  
とした特定賃貸住宅を建設  
する方法があるが、今のところ  
建設計画の予定はない。新  
規の市営住宅については民活  
を考慮した建設促進を図る。  
平成18年度佐渡市一般会計  
予算について

市道加茂歌代57  
号線の道路冠水防止工事に  
ついては、抜本的に問題解決  
を図るよう工事の見直しを  
含め再検討された。

要旨 街灯管理費につ

いては、通学路を優先的に危  
険箇所への街灯設置を早期  
に完了させることを急務とし、  
そのためにも、現在市が負担  
している電気料については、今  
後は受益者負担とすること  
を検討された。

建設課 街灯設置につ

いては、通園・通学路の危険箇所  
を早期に解消するよう限ら  
れた予算の中で効率よく設  
置していく。

街灯の維持管理費(電気

料等)の受益者負担につ  
いては、建設部・総務部・企画財  
政部の課題として連携を図  
りながら地域住民に理解を  
求めていく。

# 傍聴のこえ



女性議員が発言する際に不愉快な反応はやめてもらいたい。(議員開口後に「オーオ！」と不要な声をあげる)

FPS X Xレーター設置をめぐる件は、あまりにも曇をつかむよう、手続き論は議会にお任せするとし、施設そのものについて、かかる計画等、全市民に説明していくべき。

質問中、議員の中に真剣に聞いてない者、雑談する者、極めて次元の低い野次を連発する者、住民代表として品性を保つように注意されたい。

6月定例会を傍聴していただいた方々の感想です。(抜粋)

市長、議員、職員、いずれも市民の代表であり公僕であることを常に忘れることなかれ。

市長の答弁は投げやり答弁と思われる事が多い。謙虚、真剣であるべき。

情報提供は、市民に平等であるべき、テレビでリアルタイムで視聴可能な者もあるのだからビデオテープの貸し出しをもっと早く。

議員の一般質問は地域工口が余りにも多すぎる。

毎定例会ごとに、傍聴入り口にアンケート用紙を設置しますので、「意見・要望をお寄せください。」



## 議会のつぎき

- 4月13日 各派代表者会議
- 18日 議会運営委員会
- 26日 議員全員協議会
- 5月2日 議員全員協議会
- 2日 総務常任委員会
- 2日 市民厚生常任委員会
- 2日 産業経済常任委員会
- 2日 建設文教常任委員会
- 2日 行財政改革特別委員会
- 16日 議会研修会
- 17日 議会運営委員会
- 26日 議員定数特別委員会
- 30日 議会運営委員会
- 30日 議員全員協議会
- 30日 各派代表者会議
- 30日 行財政改革特別委員会
- 30日 空港対策特別委員会
- 6月8日、22日 第2回定例会
- 行政視察来市状況
- 5月10日 佐賀県鳥栖市議会
- 16日 新潟県長岡市議会
- 17日 北海道小樽市議会
- 22日 兵庫県川西市議会
- 23日 北海道別海町議会
- 23日 愛知県豊田市議会

## 議会報編集特別委員会からのお知らせ

今回の第9号から、「佐渡市議会だより」の仕様が変わりました。

多くの市民の皆様が市議会のことについて知っていたり、多くしてより身近な市議会になるよう、今回は一般質問はもちろんそれ以外の部分についてもバランス良く掲載するように努めました。

また、これらの内容を手こぎなページ数にまとめることにより、議会報発行の経費節約にも心がけたところです。

これからも、市民の皆様の負担にこたえられるような議会報を発行していきたいと考えています。「佐渡市議会だより」に多くのご意見・ご要望をお待ちしています。

## 編集後記

今市議会の一般質問の多くは、行財政改革を進めながらも一向に目に見えてこないことから、効果的・効率的な行財政運営や、本庁・支所の役割分担、職員の意識改革、高齢化が進むなか多くの集落維持が難しくなることを受け、市長の今後の行政運営について問われた。また、妙見山頂にFPS X Xレーター設置計画について、国民保護法など島内生活の安全確保や観光産業に対する影響が問われ、今後、市民に対する情報の提供と説明についてどう対応するのか。その矢先、北朝鮮からテポドン2号を含む7発のミサイルが発射された。いっどこで、何が起きるか分からない情勢のなか島民の安全・安心が求められる昨今である。